



ホンダ バモス

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せず）にして、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品 交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品 交換等は、商品到着後1週間以内とさせて頂きますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させて頂きます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせて頂きます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関しての注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化 変形 変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力がかかるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革バンチングタイプ・ECTクラツィオ・アルカンターラセクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましては一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこませるように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができれば、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



①カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



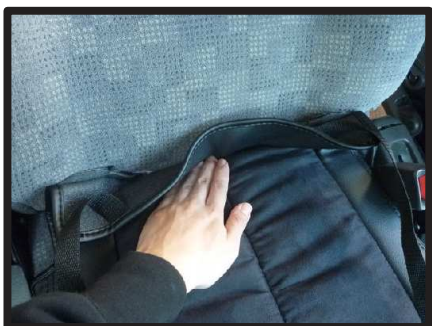
④入れ込んだ生地を背面から引き出します。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤カバー外側に板状のプラスチックが付いています。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して入れ込みやすい位置で行ってください。



⑥板状のプラスチックをシートと台座のプラスチック部との隙間に矢印の方向へ入れ込んでいきます。



⑦リクライニングレバー付近の生地をシートと台座のプラスチック部の隙間へ入れ込みます。



⑩S字フックとゴムを矢印部分へ通し、シート裏から引き出します。



⑧カバー内側面の前方にゴムが付いています。



⑩引き出したゴムのS字フックを写真の○の位置にある穴へ引っ掛けます。



⑨付属のS字フックをゴムに通しておきます。



⑫カバー内側面に付いている細めの板状プラスチックをシートと金属部分の隙間に入れ込みます。



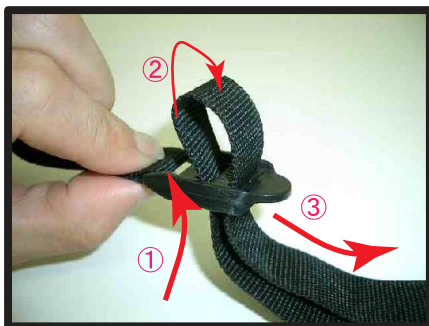
⑬ 1 ページの④で引き出した生地へベルトが2本付いています。



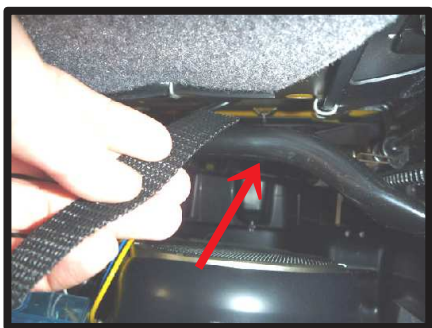
⑭ 引き出してきたベルトとカバー前方に付いているバックルを固定します。



⑮ ベルトを矢印の方向へ通していきます。



⑯ ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央を通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。



⑰ シート裏には写真の矢印で示したように金属のバーがあります。ベルトはこのバーの上を通し、前方へ引き出します。



⑱ カバーのラインを整えて運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ

※運転席アームレスト付き車はアームレストを取り外す必要があります。



- ①アームレスト本体のファスナーを開き、ソケットレンチ17mmを使用してアームレストを外します。
※アームレスト装着のための加工方法は5ページの⑩～⑫をご覧ください。



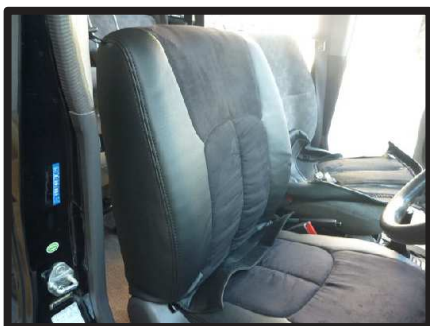
- ④ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込んでから全体を取り出します。



- ②カバー側面に付いているファスナーを開きます。



- ⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、背面から引き出します。



- ③シートのラインからずれないようにカバーをかぶせていきます。



- ⑥①→②→③の手順で背もたれ側面の生地をシートに馴染ませていきます。側面のシワが消えるまで繰り返し行って下さい。

※運転席アームレスト付き車の場合



⑦4ページの⑤で引き出した生地とカバー背面の生地をマジックテープで固定します。



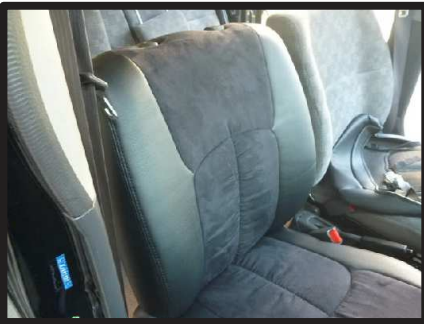
⑩写真の○部分にあるネジを外し、アームレスト固定用の軸をシートから取り外します。
※外したネジは無くさないように注意して下さい。



⑧カバー両側面のファスナーを、生地同士を内に寄せながら閉じ、ファスナーの余りは、カバーの内側に入れ込みます。



⑪取り外した軸をカバーの上から固定する為の穴を加工します。
シートの穴位置をよく確認してペン等で目印を付けてから、カバーにはさみ等で写真の様に切れ目を入れます。



⑨カバーのラインを整えて運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑫アームレスト固定用の軸をカバーの上から取り付けます。

2列目座面

※助手席側の取り付け説明です



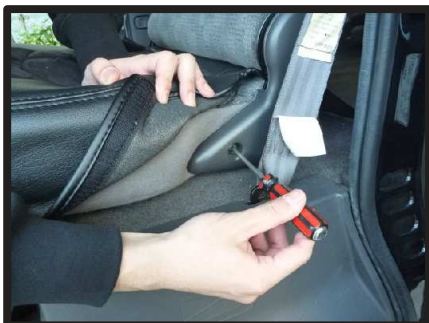
①カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



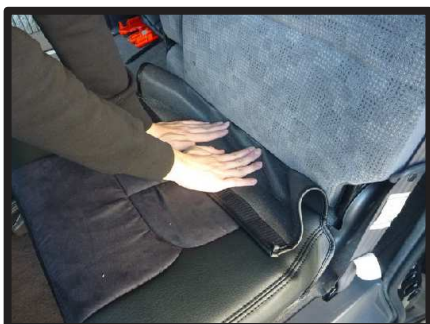
④入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



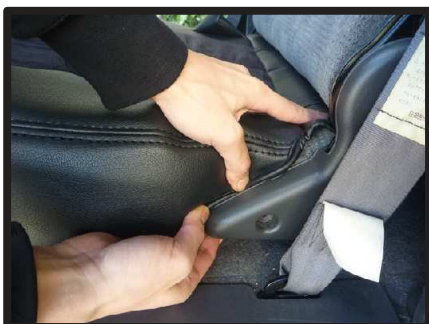
②シートのラインからずれないように全体にかぶせます。



⑤シートの外側面にあるプラスチック部を固定しているネジをドライバーを使用し外します。
※取り外したネジを紛失しない様に注意して下さい。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥外したプラスチック部とシートの隙間にカバーをはさみ込み、外したネジを戻し、固定します。



⑦ 6ページの⑤と同様にシート内側面のプラスチック部を固定しているネジをドライバーを使用し、外します。
※取り外したネジを紛失しない様に注意して下さい。



⑩ シワにならないようにしっかりと生地を伸ばしながら固定します。



⑧ 外したプラスチック部とシートの隙間に生地をはさみ込み、外したネジを戻し、固定します。



⑪ カバー内側面も同様にシート裏へ直接固定します。



⑨ カバー外側面に付いているマジックテープをシート裏に直接貼り付けて固定します。



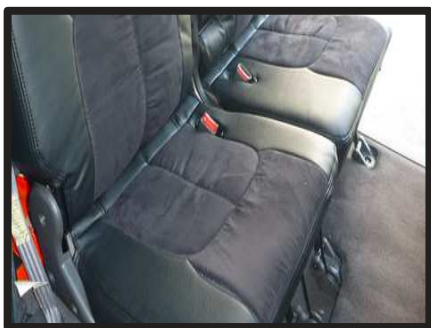
⑫ シート前側にもマジックテープが付いていますので、シート裏へ直接固定します。



⑬シートベルトバックルが出ている穴へカバーの生地を入れ込みます。



⑭奥までしっかりと生地を入れ込みます。



⑮シートのラインを整え、2列目助手席側座面の完成です。運転席側も同様に取り付けます。

2列目背もたれ

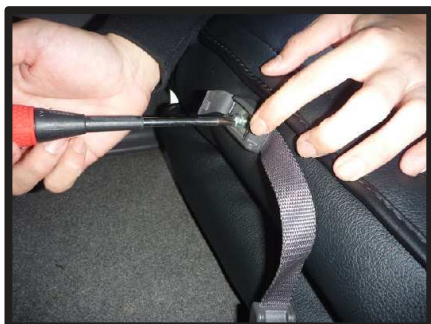
※助手席側の取り付け説明です



- ① 2列目背もたれ背面に付いているベルトを取り外します。
ヘラなどをプラスチックのフタの隙間に差し込み、フタを開きます。



- ④ カバー内側面に付いているファスナーを開きます。



- ② +ドライバーを使用してネジを外します。
※取り外したネジは紛失しない様に注意してください。



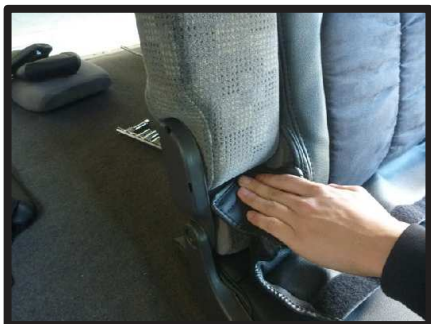
- ⑤ カバーを半分ほど折り返してシートラインに合わせ、肩口までしっかりとかぶせます。



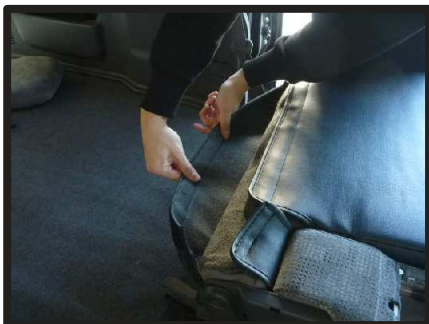
- ③ 取り外したベルトは、一旦保管しておきます。



- ⑥ ラインからずれないように全体にカバーをかぶせます。



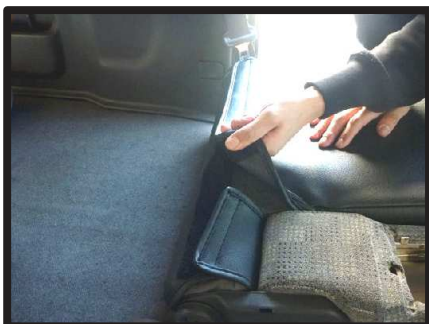
⑦アームレストと背もたれの隙間にカバーの生地を入れ込みます。



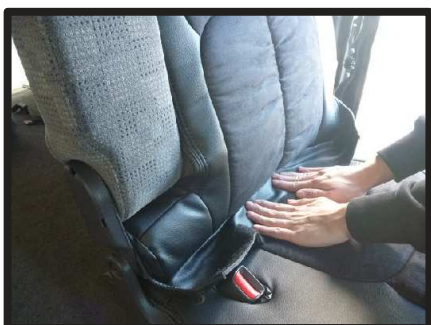
⑩入れ込んだ生地を背面から引き出します。



⑧アームレストを動かしながら生地を引き出すと作業がしやすくなります。



⑪引き出した生地についているマジックテープをカバー背面のマジックテープと固定します。



⑨背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑫9ページの④で開いたファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じ、余ったファスナーは、生地の内側に入れ込みます。



⑬4 ページの④と同様に台座を加工穴から取り出します。



⑭付けた印の上にネジを合わせ、カバーの上から固定します。



⑮カバーの外側肩口の加工穴からリクライニング用のベルトを取り出します。



⑯反対側のネジも同様に閉めます。



⑰9 ページの①②③で取り外したベルトのネジ穴の位置に印を付けます。
※穴位置を良く確認しながら作業を行って下さい。



⑱シートをラインを整え、2 列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も同様に取り付けます。

1 列目アームレスト



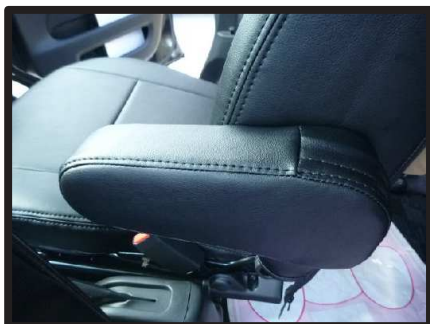
①カバーを半分程裏返して、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



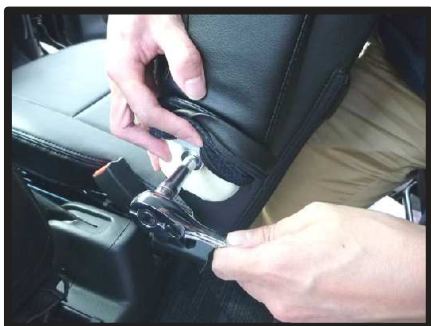
④シート背面からファスナーを閉じます。ファスナーは生地を内へ寄せながら無理せず慎重に閉じるようにして下さい。無理に力を入れるとファスナーの破損につながります。



②アームレストのラインからずれないように、アームレスト全体にカバーをかぶせます。カバーは加工穴がある側だけシートに戻す前にかぶせます。



⑤カバーのラインを整えて1列目アームレストの完成です。



③アームレストをシートに取り付けます。

2列目アームレスト



①写真の○部分にツメがありますのでヘラ等を使用し、ドリンクホルダーのプラスチック部分を丁寧に外します。



④シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



②このようにプラスチック部分を取り外します。



⑤アームレストと背もたれの間隙に生地を入れ込みます。



③カバーを半分ほど折り返して、シートのラインに合わせて先端までしっかりとかぶせます。



⑥入れ込んだ生地を背面から引き出します。



⑦ 13ページの⑥で引き出した生地についている板状のプラスチックを反対側のフック状のプラスチックと固定します。



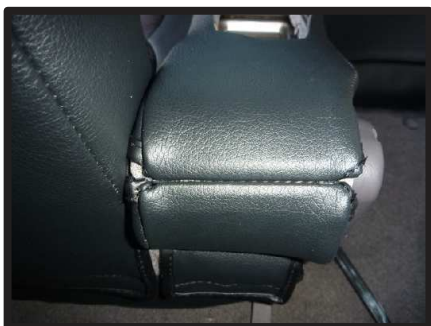
⑩ 13ページの①で取り外したプラスチックを元に戻します。矢印の位置にツメを2つ引っ掛けてから○部分のツメを上から押し込みます。



⑧ フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み固定します。



⑪ アームレストとプラスチック部分の隙間に生地を入れ込みます。



⑨ フックの固定完成写真です。



⑫ カバーのラインを整えて2列目アームレストの完成です。

ヘッドレスト



①カバーを半分ほど折り返してヘッドレストのラインに合わせて先端までかぶせます。



④底面の完成写真です。



②ラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



⑤ラインを整えて1列目ヘッドレストの完成です。

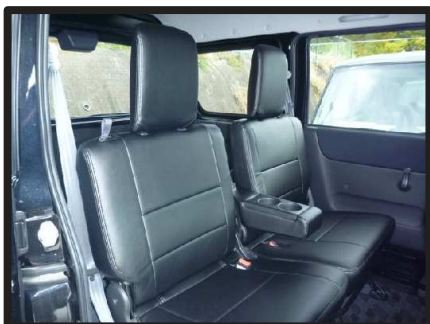
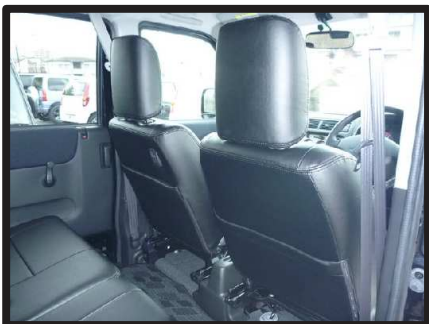


③底面の板状のプラスチックとフック状のプラスチックを固定します。
※14ページ⑧参照



⑥2列目ヘッドレストも同様に取り付けます。

完成図





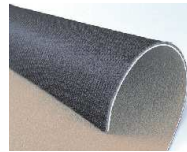
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまうます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

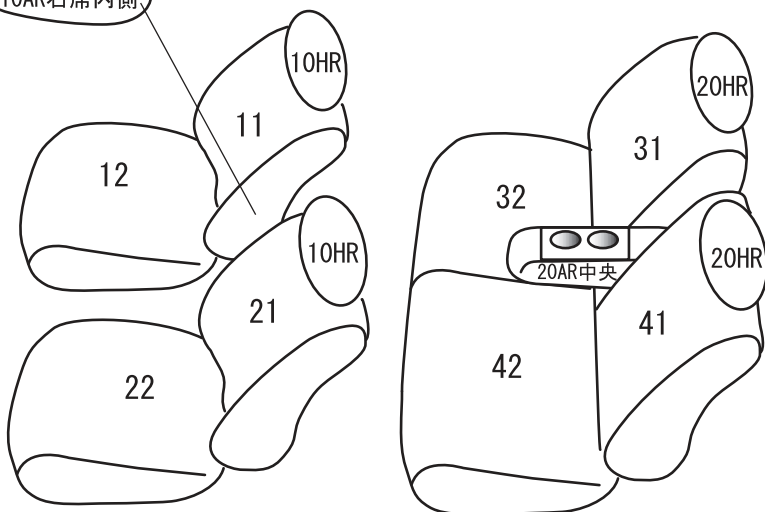
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



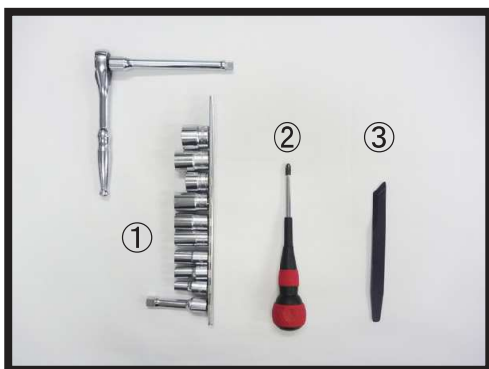
本製品シート形状とパーツの名称

※運転席AR付き車用

10AR右席内側



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット (AR付き車のみ)
- ② +ドライバー
- ③ ヘラ